

水と油と高分子を駆使する科学のスペシャリスト

第47期中間決算説明会

(2004年3月1日～8月31日)

M O R E S C O

(登記社名: 株式会社松村石油研究所)

Matsumura Oil Research Corp

<http://www.moresco.co.jp/>

JASDAQ 5018

2004年10月19日

業績予想に関する注意事項

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな要因により予測数値と異なる結果となる可能性があります。

この資料の著作権は MORESCO (株)松村石油研究所に帰属します。
いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

M O R E S C O

(登記社名:株式会社松村石油研究所) Matsumura Oil Research Corp.

神戸市中央区港島南町五丁目5番3号

設 立	1958年10月
代 表 者	中 野 正 徳
従業員数	197人(2004年8月末日現在)
資 本 金	376.5百万円
事業内容	素材、特殊潤滑油、ホットメルト接着剤などの 化学品の開発・製造・販売
施 設	本社・研究センター(神戸市中央区) 千 葉 工 場 (千葉県市原市) 赤 穂 工 場 (兵庫県赤穂市) 大阪支店・東京支店、名古屋・小山営業所
関連会社	国内3社(連結子会社3社)、海外3社(連結2社、持分法適用1社)

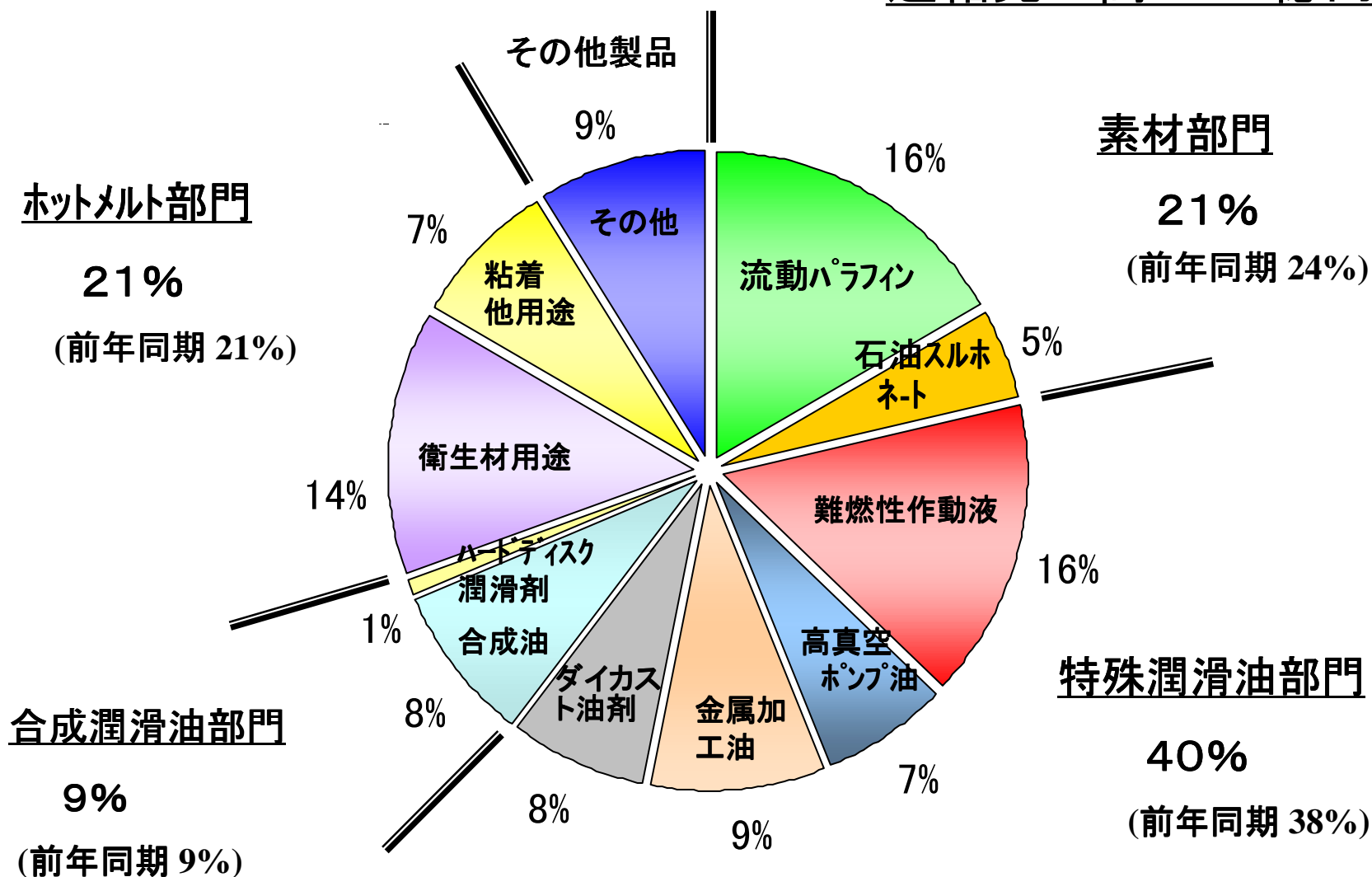
主要な事業

- 素 材 部 門
- 特 殊 潤 滑 油 部 門
- 合 成 潤 滑 油 部 門
- ホットメルト接着剤部門

- 関 連 事 業 部 門
 - 海 外 事 業 部 門
-

化学品事業の売上高構成(平成17年2月期中間)

連結売上高47.9億円



素材部門

流動パラフィン
モレスコホワイト

精製流動パラフィン
モレスコバイオレス

石油スルホネート
スルホール

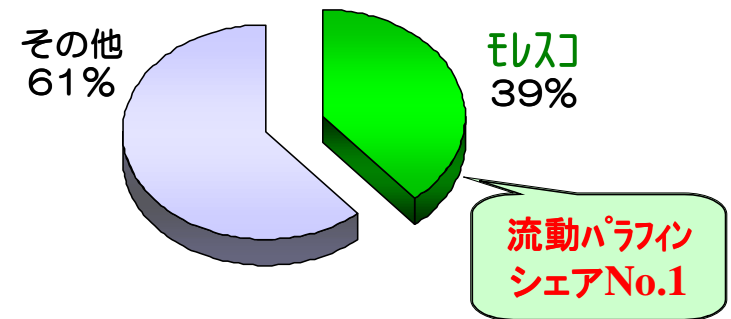
合成スルホネート
モレスコアンバー

■ 流動パラフィン

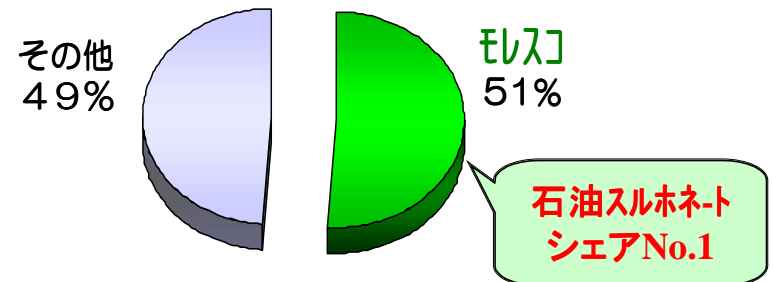
- 無色透明、無味無臭で飽和炭化水素からなるオイル、日本薬局方、食品添加物規格、化粧品原料基準をクリア。
- 安全性、クリーンな特性が、環境・安全・衛生という社会が求めるニーズにフィット。
- 化粧品・トイレタリー用基剤、プラスチック滑剤、食品機械用潤滑剤などに使用。

■ 石油スルホネート

- 優れた機能を備えた産業用の界面活性剤で、金属加工油、エンジン油や防錆油の添加剤として使用。
- 石油スルホネートの世界的な品薄から、当社製品への需要拡大が見込まれる。



[出所：日本流動パラフィン工業会]



特殊潤滑油部門

高真空ポンプ油
ネオバック

難燃性作動液
ハイドールHAW

金属加工油
ネオクール

ダイカスト油剤
モルゾール・ネオキャスター

■ 高真空ポンプ油

- ネオバック は高真空ポンプ油の代名詞。
- 半導体業界、液晶業界、家電業界など広い分野で使用。

■ 水グリコール型難燃性作動液

- 火気の近くで使用される油圧機器の作動油として使用。
- 火災や爆発事故を防ぐ、安全な難燃性作動液。
- 鉄鋼業界の圧延設備や自動車業界のダイカストマシン (アルミ等の鋳造機) で使用。

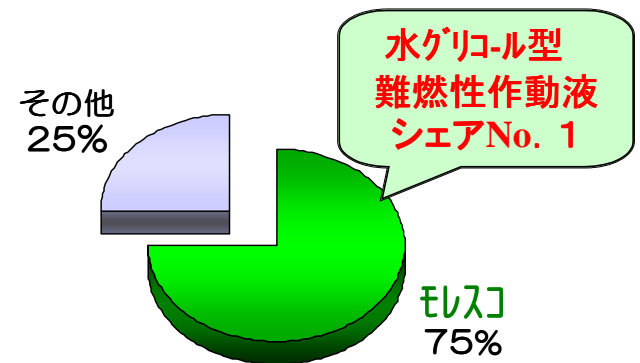
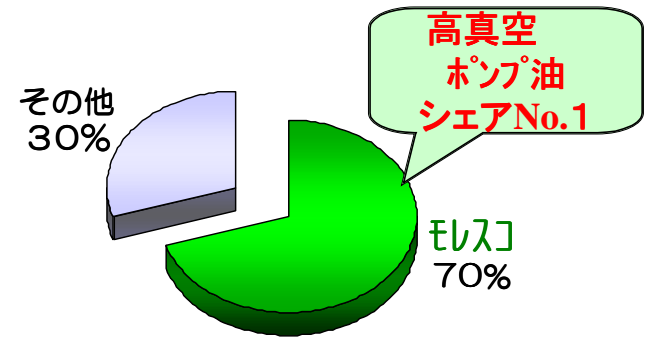


■ 金属加工油

- バイオ技術を応用、腐敗しにくく長期使用が可能。
- 合成ポリマ-を成分とし、機械の汚れを防ぎ使用量も低減。

■ ダイカスト油剤

- 自動車部品、パソコン、携帯電話等の金型離型剤に使用。
- ダイカストマシンの作業環境を汚さない水溶性潤滑剤。



[出所：当社推定]

合成潤滑油部門

高温用潤滑油
モレスコハイループ

ハードディスク表面潤滑剤
モレスコホスファロール

耐放射線性潤滑剤
モレスコハイラッド

高温用グリース
モレスコハイグリース

■ 高温用潤滑油

- 高温下で作動する機械装置のチェーンや軸受の潤滑油として、優れた耐熱性を発揮。
- 自動車のエンジン周りの補機等で使用される耐熱性グリス基油、音響機器・IT機器などモーターの含浸軸受油などに使用。

■ ハードディスク表面潤滑剤

- ハードディスクの高速・高密度化に貢献するナノメートルオーダーの超薄膜潤滑剤。



■ 耐放射線性潤滑剤

- 高速増殖炉や軽水炉の防震器、コバルト線照射施設、電子加速器などの原子力関連機器に使用。

■ 高温用グリース

- 高温の環境で使用される機械設備のギヤー、ベアリング部に使用。

ホットメルト接着剤部門

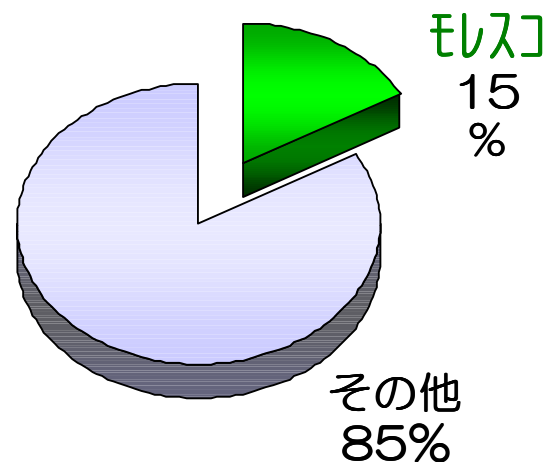
ホットメルト接着剤
モレスコメルト

■ ホットメルト接着剤

- 熱可塑性樹脂を主成分とする接着剤。
無溶剤であり安全性に優れる。
- 紙おむつなどの衛生製品用、ダンボールの封緘、
発泡スチロールなど緩衝材の接着、自動車部品・
家電製品の組み立てなど、広範な分野で使用。
- 特に、当社は紙おむつなどの衛生製品分野で
国内シェア15%。
- パッケージレス・ホットメルト接着剤「ネオコート」を
開発し、ユーザーの“ゴミゼロ”に貢献。



(衛生製品用途)



[出所：日本衛生材料工業連合会]

決算説明

決算概要

連結損益計算書

単位:百万円

	03/8期	04/8期	増減	増減率
売上高	4,232	4,819	587	13.9%
売上総利益	1,563	1,833	270	17.3%
販管費	1,384	1,434	50	3.7%
営業利益	179	399	220	122.6%
営業外損益	△24	△13	△11	—
経常利益	155	386	231	149.0%
税引前利益	155	386	231	149.0%
当期純利益	86	231	145	169.4%

個別各社の業績

単位:百万円

		売上高	経常利益	中間純利益
MORESCO	03/8期	3,792	126	77
	04/8期	4,227	312	201
マツケン	03/8期	671	10	6
	04/8期	759	29	17
モレスコテクノ	03/8期	78	3	2
	04/8期	80	7	5
モレスコサービス	03/8期	94	3	2
	04/8期	87	2	1
モレスコタイラント*	03/6期	205	28	20
	04/6期	330	45	32

(持分法適用会社)

無錫徳松科技	03/6期	64	△23	△23
	04/6期	162	△7	△7

決算概要 連結貸借対照表

前期末対比(前期末休日調整後)、単位:百万円

科目	04/8期	増減	科目	04/8期	増減
現預金	180	△90	仕入債務	1,487	102
売上債権	2,348	136	有利子負債	2,675	△285
棚卸資産	970	△2	その他流動負債	877	129
その他	254	104	その他固定負債	1,311	27
流動資産計	3,752	148	負債合計	6,350	△27
有形固定資産	4,070	△5	少数株主持分	41	8
無形固定資産	26	△4	資本金・資本剰余金	541	0
投資その他	610	22	利益剰余金等	1,526	180
固定資産計	4,706	13	資本合計	2,067	180
資産計	8,458	161	負債・資本計	8,458	161

決算概要 経営指標

	03/8期	04/8期
1株当たり		
中間(当期)純利益	142.84円	355.37円
株主資本	2,574.17円	3,181.37円
株主資本比率	18.8%	24.4%
売上高経常利益率	3.7%	8.0%

売上高の内訳

単位：百万円

	03/8期	04/8期	増減	前期比
素材部門	997	1,001	4	0.5%
特殊潤滑油部門	1,629	1,920	291	17.9%
合成潤滑油部門	373	437	64	17.1%
ホットメルト接着剤部門	907	1,008	101	11.2%
その他	295	421	126	42.4%
化学品事業計	4,200	4,787	586	14.0%
ビル事業	32	32	0	0.0%
売上高合計	4,232	4,819	586	13.8%

売上高増の主要因

素材部門	<ul style="list-style-type: none">・流動パラフィンは、化粧品堅調、ポリスチレンメーカー向けは減、全体としてほぼ横這い。・スルホネートは、国内金属加工油メーカー向け好調。
特殊潤滑油部門	<ul style="list-style-type: none">・国内向けは自動車および部品産業好調で、製品全般売上増。特にアルミダイカスト(自動車部品)向けの作動油は予想を大きく上回る。・タイ王国での売上増も寄与。収益面でも寄与。
合成潤滑油部門	<ul style="list-style-type: none">・グリース基油となる合成潤滑油、ハードディスク表面潤滑剤の売上増。収益面での寄与大。
ホットメルト接着剤部門	<ul style="list-style-type: none">・大人用紙おむつの需要増に伴い売上が増加。収益面でもパッケージレス品(新製品)が寄与。・高機能粘着材など用途の多様化も進展。
その他	<ul style="list-style-type: none">・中国の無錫徳松科技有限公司(持分法適用関連会社)向け材料輸出増。

売上総利益増減の要因

単位:百万円

売上数量増加による利益増	135
販売単価増(売上構成の変化)	147
材料費低減	15
製造固定費増	△28
化学品事業計	269
ビル事業総利益増	1
合計	270

販売費・一般管理費

単位：百万円

	03/8期	04/8期	増減	前期比
販売費・一般管理費	1,384	1,434	50	3.7%
うち、研究開発費	279	297	18	6.4%

売上高研究開発比率	6.6%	6.2%
-----------	------	------

(単体)	(7.3%)	(7.0%)
------	--------	--------

新製品売上高

単位：百万円

	03/8期	04/8期	増減	前期比
新製品売上高	447	503	56	112.5%
新製品の売上高寄与度	11.8%	11.9%		

有形固定資産・減価償却費

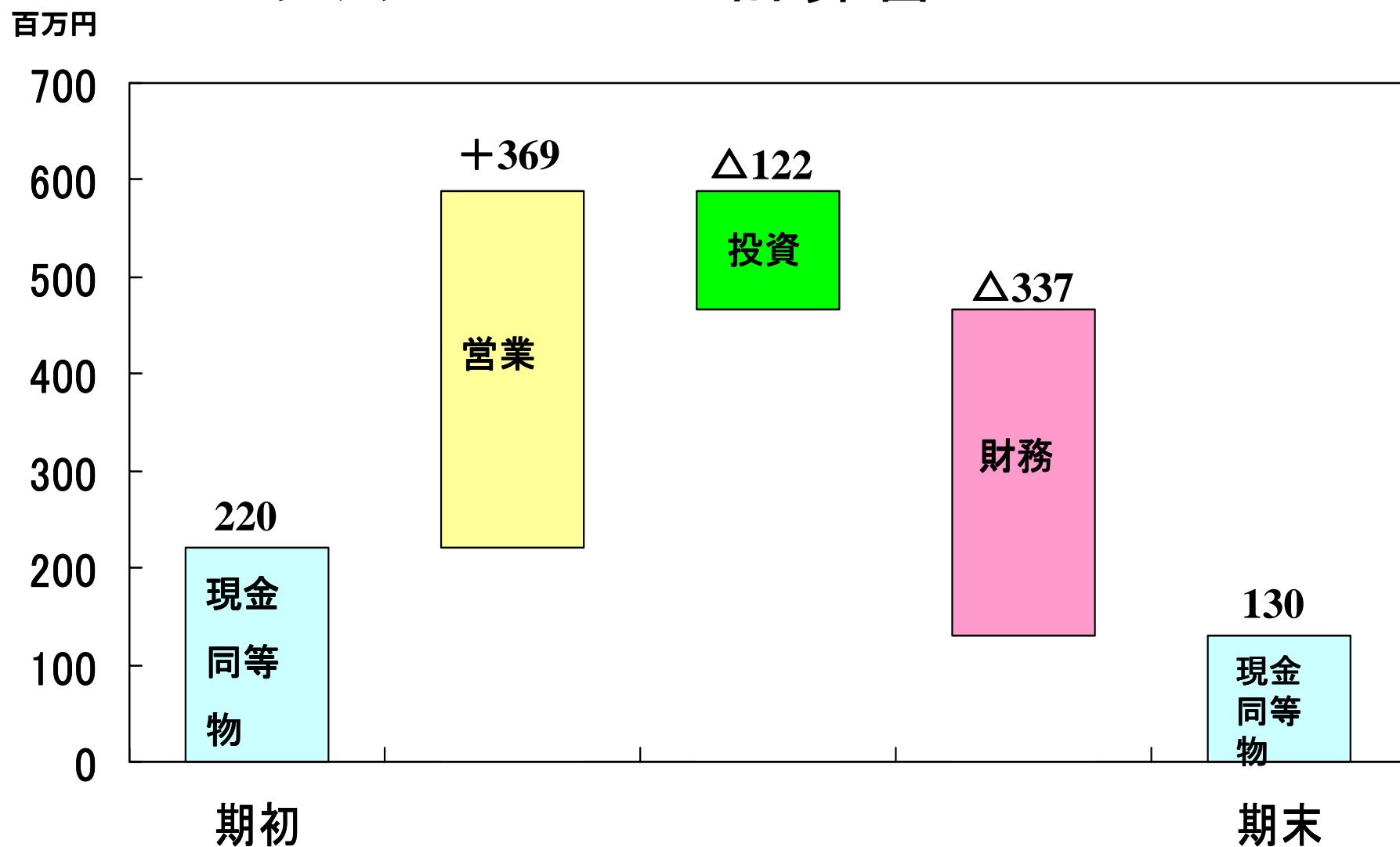
単位：百万円

	04年期初	04年中間	増減
有形固定資産計	4,075	4,070	△5

設備投資額	(合計)	145
松村石油研究所		138
モレスコタイラント [〃]		7
その他		0

	03/8期	04/8期	増減
減価償却費	148	143	△5

キャッシュフロー計算書



有利子負債

単位：百万円

	04年期初	04年中間	増減
短期借入金	1,816	1,501	△315
長期借入金	844	874	30
社債	300	300	0
合計	2,959	2,675	△285

今期(05/2月期)業績予想

今期(05/2期)の連結業績予想

単位:百万円

	前年 実績	今回 予想	前年 比	当初 予想
売上高	8,805	10,060	14.3%	9,660
化学品事業	8,742	10,000	14.4%	9,600
賃貸ビル事業	63	60	0.0%	60
営業利益	471	730	55.0%	580
経常利益	395	710	79.7%	540
当期純利益	234	440	88.0%	310
純資産	1,887	2,280	20.8%	2,138

今期(05/2期)の連結業績予想 経営指標

	前年実績	今回予想
1株当たり		
当期純利益	364.33円	661.80円
株主資本	2,887.58円	3,507.69円
株主資本比率	22.5%	23.8%
ROA	4.9%	7.4%
ROE	13.8%	19.3%
売上高経常利益率	4.5%	7.1%

売上高予想

単位:百万円

	前年 実績	今回 予想	前年 比	当初 予想
素材部門	2,102	2,190	4.2%	2,140
特殊潤滑油部門	3,361	3,830	14.0%	3,710
合成潤滑油部門	746	930	24.7%	830
ホットメルト接着剤部門	1,873	2,150	14.8%	2,030
その他	660	900	36.4%	890
合計	8,742	10,000	14.4%	9,600
ビル事業	63	60	0.0%	60
合計	8,805	10,060	14.3%	9,660

研究開発

ハードディスク表面潤滑剤

ハードディスクの高速・高密度化に貢献するナノメートルオーダーの超薄膜潤滑剤。成長が見込まれる2.5インチ以下の、小型ハードディスク用潤滑剤の開発を推進。

光触媒・促進酸化による水浄化装置

光触媒・紫外線・オゾン・酸化剤を組み合わせ、廃棄物ゼロを目指した水処理装置。光触媒を応用したハウス栽培向け養液殺菌装置の有用性を確認、試売開始へ。

CMPスラリー

Cu配線半導体の製造プロセスで使用される研磨材フリーのスラリーです。海外研究機関(IME)での評価を終え、デバイスメーカーでの評価に進展。

新高温用合成潤滑油

当社独自技術による合成油をベースに、温度特性を向上した合成潤滑油の開発。極限温度領域の拡大によって、新たな用途開発を進める。

高機能潤滑油添加剤

無機系の分散体を活用し、有機系添加剤の極限を超える機能を目指した潤滑油の添加剤です。

当面の課題

・原油・ナフサの動向

価格高騰が続けば、原料価格の上昇によるコストアップは避けられない状況

<対策>

・製品価格へ転嫁する方針

・一部、フォーミュラ(鉄鋼・自動車向け)により、ほぼ自動的に値上げ

・その他製品については、個別対応で値上げ

・全額転嫁は困難が予想される

(当期業績への影響額は△40百万円)

M O R E S C O

(登記社名:株式会社松村石油研究所)

JASDAQ 5018

<http://www.moresco.co.jp/>

IR窓口 078-303-9058(広報室)

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。